

宗像市地域公共交通計画（案）に関する
市民意見提出手続の意見及びその回答

箇所	意見	対応	回答
36ページ～45ページ	支線交通の現状、バス乗り込みアンケート調査の母数が提示されていません。母数（回答者数）を示したほうがよろしいのではないのでしょうか。	原案どおり	本計画は、基本構想・前期計画からなる「本編」と、本編に関連するデータや補足資料を取りまとめた「資料編」で構成されています。 バス乗り込みアンケート調査の母数については、資料編に記載しているため、原案どおりとします。
37ページ	ふれあいバスの満足度・改善要望について、何%の人が満足、不満足であり、何%の人が運行便数の増加を求めているのか%表示で示したほうがわかりやすいです。また、コミュニティバスやオンデマンドバスの満足度・改善要望については%表示になっているので%表示に統一したほうが良いのではないのでしょうか。	原案どおり	ふれあいバスの満足度・改善要望の%表示については、資料編に記載しているため、原案どおりとします。
46ページ	下段2行目、「補充できず、ことが推察」誤植では。	一部修正	「補充できないことが推察」に修正します。
51ページ	目標値については、現在鉄道、バス以外の交通手段利用者がそれぞれ〇〇人いるので、その〇〇%をバス利用者及び駅利用者に行動変容させる、というような具体的な数値を示す必要があるのではないのでしょうか。端的に言うと800人/日のベースとなる数値説明が必要ではないのでしょうか。	原案どおり	成果指標の目標値の設定根拠については、資料編に記載しているため、原案どおりとします。
59ページ	JRの利用環境・駅へのアクセス向上について、近年健康志向、CO2削減啓発の影響もあり歩いて駅へ向かう市民も増えていると感じますが、駅へ向かう大通りの歩道は狭いところもあり、インターロッキングの不陸によって転倒事故なども発生しています。このような歩道（ハード）の整備を充実させることによって徒歩で駅へ向かう市民をさらに増やすことにもつながると思います。同様に、桜公園遊歩道を整備拡充することもアクセスの向上ではないかと思います。	原案どおり	歩道（ハード）整備については、ウォーカブルなまちづくりを目指すうえで必要な課題だと捉えていますが、本計画は地域公共交通に関する内容に限って記載していますので、原案どおりとします。

59 ページ	令和5年12月20日に開催された第三回デジタル行財政改革会議資料（国土交通省レク）によると、2025年度を目途に全国で無人自動運転移動サービスを実現していくためには、地元自治体や事業者と関係行政機関が一体となり、地域の取り組みに寄り添いながら支援していく環境を整備することが必要であり、そのために全都道府県での自動運転の事業化支援を目的として「レベル4モビリティ・地域コミッティ（仮称）」を地元自治体と共同で設置するとあります。本市の計画でも、想定する必要はありませんか。	原案どおり	各都道府県に設置される「レベル4モビリティ・地域コミッティ（仮称）」については、今後もその動向を注視してまいります。詳細が発表されておらず、その内容を記載することは困難であるため、原案どおりとします。
--------	--	-------	--